

10月17日：調整圧力が高まりVN指数は下落

昨日はVN指数への比重の大きい優良株に調整圧力が高まり下落した。

ホーチミン市場のVN指数は0.47%下落し、992.06ポイントで引けた。

出来高は1億92百万株で、売買代金は4兆ドン（1億71百万ドル）だった。

同指数は水曜日は0.14%上昇していた。

前場は銀行、不動産、小売、石油・ガス、建設、海産物加工、IT、ヘルスケア、保険、卸売、小売、証券など幅広く売られた。

vietstock.vnによるとこれらのセクターの下落幅は0.07%～1.64%であった。

これらのセクターの中には、第3四半期に好決算が予想され、先週大きく上昇していたセクターもあった。

流動性が低いのは、投資家が第3四半期決算に対して慎重になっているためと、VNダイレクト証券は水曜日にレポートで述べている。

ロジスティックス、食品・飲料、建設資材などは堅調に推移した。

昨日大きく売られた銘柄はVIC、VCB、SABなどだった。

VCB、BID、TCB、VPB、MBBなど多くの銀行株も下落圧力にさらされ、SSI、HCM、VND、SHSなどの証券株も弱含んだ。

HPG、VCS、HT1、HSGなどが堅調だったため、建設資材が連れ高となった。

ハノイ市場では、HNX指数が0.13%上昇し106.07ポイントで引けた。

出来高は184万株、売買代金は2,610億ドンであった。

同市場は前日までの2日間で0.1%下落していた。

外国人はホーチミン市場でVNM(44.9億ドン)、VCB(97.5億ドン)、GAS(39.4億ドン)など183.1億ドンを買い越した。

バオベト証券(BVSC)によると、今日も不透明感からレンジ相場が続くと見ている。

同社はVN指数は当面987-995ポイントの間で推移すると見ている。

市場は第3四半期の決算に応じて、セクター・銘柄の選別と物色が進むと見ている。

「銀行、不動産、電力、天然ゴム、タイヤなどは第3四半期決算が好調と見ている。加えて、VNM、MSN、VJC、PNJなどVN30に含まれる大型株も、短期的には堅調と見ている。」とBVSCは述べた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。